

令和2年度事業計画

I はじめに

シルバー人材センターは、全国的に派遣事業の実績は伸びていますが、請負・委任事業は低迷しています。会員数については減少しています。

新潟県内も同様に派遣が増加し、請負・委任が減少するセンターが少なくありません。会員数については鋭意拡大に取り組んでいますが、減少傾向にあります。

当センターも派遣事業の実績は伸びていますが、請負・委任事業には伸びが見られません。会員数にもやや減少が見られます。

この、会員数の減少については、増加への取組が全国で大きな課題となっています。高齢者の就業・社会参加を通じて地域に貢献するシルバー人材センターにとって、センターを維持するために、また、人口減少による人手不足から求められる高齢者の労働力への期待に応えるために、全国シルバー人材センター事業協会では「第2次100万人達成計画」（平成30から36年度）を策定し、会員の増加に取り組んでいることはご案内のとおりです。

当センターにおいても、平成31年度から「会員増強、就業先拡大・プラスワン運動」を実施し、会員皆様のご協力により加入の勧誘や就業先の紹介等に取り組んでいますが、雇用延長や人口の減少などの影響もあるとされ、上向きに転じない状況です。

令和2年度は、これらを踏まえながら次の事項を重点とします。

まず、会員の拡大が喫緊の課題です。働く意欲のある高齢者に一人でも多く会員として入会していただき、就業していただくことがシルバー人材センターの使命でありますので、高齢者の受け皿としての機能を十分果たし、「社会の支え手」を實踐できるよう会員、役員、事務局がさらに力を合わせて粘り強く取り組むことが大切になります。特に、少ない女性会員の確保に注力するとともに退会の抑制にも取り組んでまいります。

就業の拡大については、公共機関や市内企業等をお願いをしているところですが、仕事の大小を問わず、受注に結び付く活動を推進していきます。

請負事業については、成長分野の福祉・家事援助サービスなど地域に貢献する分野での、底上げを図っていきます。伝統的な受託事業である庭木の囲いや除草、襖・障子の張替えなどは就業会員の確保と技能の継承が重要になります。

派遣事業については、会員の就業先を訪問し更なる就業の拡大をお願いするとともに派遣先と協力して事故防止に努めることが一層重要になっています。

以上のような事項を踏まえ、当センターの令和2年度収支予算については、経常収益計が1億6,454万8千円で前年度当初予算と比較し12万3千円の減、経常費用計が1億7,088万4千円で前年度当初予算と比較し52万円の増、当期経常増減額は633万6千円の減であります。

当センターは、基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持し、関係各位のご支援、ご協力をいただきながら、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、「生きがいと地域のニーズを結ぶ」事業の推進に取り組んでまいります。

II 基本方針（第3次中期計画 平成30年度～令和4年度）

1. 会員（人材）の増強と育成
2. 就業機会の拡大と技術力の向上
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営体制の充実と強化

III 個別事業計画

【総務委員会】

健康で働く意欲のある高齢市民が一人でも多く「社会の担い手」となり地域で活動ができるよう、またシルバー人材センター事業の意義を広く市民に周知すべく以下のことを実施します。

1 会員の増強と融和推進

① 会員入会の促進

- ・入会説明会を、毎月1回（第3水曜日「サンラックおぢや」にて）行います。
- ・会員による新規入会者の勧誘活動を推奨し、会員が集う機会のほか必要に応じさまざまな機会に協力を呼びかけます。
- ・新規入会者増の取組について検討を行います。

② 会員親睦機会確保の協力

- ・シルバー人材センターにおける就業やボランティアなどの地域社会貢献に意欲的に参加しやすくするため、会員同士の親睦活動に協力します。

③ 会員の資質向上の促進

- ・必要に応じ検討およびシルバー人材センターに協力します。

2 地域社会への貢献

① ボランティアによる美化活動の実施

- ・公共施設を会場とし、各委員会、地域班長等に協力を求めながら、多くの会員有志の参加を呼び掛けて実施します。

3 小千谷市が行う高齢者福祉事業等への協力

① おぢや健康福祉まつりに参加

- ・各委員会及びサークル等に協力を要請し、シルバー人材センターのPRコーナーを運営します。

【安全・就業委員会】

1 安全研修の実施

- ・安全就業講習を実施します。
- ・刈払機除草作業中に起こる事故防止のため、安全に効率よく就業ができるように、就業前点検を呼びかけます。
- ・ドライビングスクールへの積極的な参加を呼びかけます。
- ・新潟県シルバー人材センター連合会等が主催の研修会へ出席します。

2 就業現場の巡回強化

- ・就業現場での巡回指導を随時実施し、安全就業を行い「事故ゼロ」を目指します。
- ・巡回時に会員一人ひとりの事故防止に対する意識を高揚させ、安全用具の着用や傾斜地での転落防止を呼びかけていきます。
- ・新潟県シルバー人材センター連合会と合同で、他センターへの巡回指導を実施します。

3 事故防止の徹底

- ・入会者に対する安全就業指導を行います。
- ・就業に際しての安全確認、往復時の交通事故防止を呼びかけます。
- ・グループ就業の場での就業前ミーティング等を重要視し、安全就業に対する意識の向上に努めます。
- ・安全具着用を推進し、飛散防止用にネットやブルーシートの活用を広めることや、用具からの転落防止、傾斜地等作業時の事故防止を伝え、未然防止に努めます。
- ・事故の再発防止を検討し、ヒヤリハットを会員自らのこととして類似事故を防止するように、広報誌等を活用し会員に周知します。
- ・普段から意識を持って行動できるように熱中症予防のチラシを配付し周知します。
- ・「一会員必携一安全就業ハンドブック」を常に携帯し、安全確認をするよう周知します。

4 作業用具類の管理

- ・作業機械器具類、安全保護具などの定期点検、整理整頓を強化します。
- ・自動車の運転前後の確認を促します。
- ・自動車を定期的に点検、車内整理を実施します。

- ・自動車運転日誌の確認をします。

5 安全就業強化月間（7月）における安全就業の周知徹底

- ・安全就業を強化するために会員へ周知します。
- ・熱中症予防のチラシを配付し注意喚起を徹底します。
- ・救急用品の携帯を推進します。
- ・身体機能の低下に対応するため、定期的な健康診断の受診を呼びかけます。

【広報委員会】

1 事業の啓発活動等の計画立案及び宣伝

- ・センターの会報誌、パンフレットおよびホームページ等を有効活用し普及啓発に努めます。
- ・小千谷市等が開催する各種イベントへ参加し、広報活動に努めます。
- ・必要に応じて市の広報誌や地域紙等に取材、情報掲載を依頼します。

2 会報の企画、編集

- ・年2回、会報誌「ばわすこ小千谷」を編集発行して、センター会員、関係機関、各種企業・団体等へ配布することにより、センターの組織や事業活動についての情報提供、センターの普及啓発等に努めます。
- ・見やすく、親しみのある会報誌の発行を目指します。

3 事業啓発用パンフレット等の編集

- ・既存の掲示物やパンフレット等の編集を行い、引き続きセンターのPRに努めます。
- ・センターの事業に応じた掲示物やパンフレット等の作成や編集を検討します。

4 ホームページの管理運営

- ・利用頻度を高めるために、内容の充実、最新情報の更新を図り、センターのPRに努めます。

【理事会及び事務局】

1 公益社団法人としての機能強化への取組み

- ・理事会、委員会の活性化を図ります。
- ・職群班、地域班の強化を図ります。
- ・会員の交通安全や接遇・マナーに関する研修を行い、資質の向上を図ります。
- ・事務局職員の企画力・事務能力向上を図ります。

2 財政基盤の確立、経営効率化への取組み

- ・ 自主財源の確保に努めるとともに、補助金を適切に判断し、堅実な財政基盤を確立します。
- ・ 事務の効率化を進め、印刷物の内製化、用紙の再利用などにより経費削減に努めます。

3 情報の提供

- ・ 関係機関の印刷物や当センターのチラシを活用して情報を広く提供し、会員拡大や適正就業を推進するとともに、事故の防止を図ります。

【参考】 令和2年度目標値

会員数	粗入会率	受注件数	就業延人員	契約金額	就業率
415人	2.9%	2,409件	33,899人日	176,348千円	92.8%

※ 表中の数値は、請負等に係る当センター事業の数値と県連合会小千谷市事務所の派遣事業の数値を合計したものです。

※ 粗入会率は当市の60歳以上の人口に占める会員数の割合です。

※ 就業率は年度内就業者数÷年度末会員数で示したものです。